

前原 誠司 候補者の政見・略歴・推薦人名簿

平成 23 年 8 月 26 日

## 「日本再生に向けて」

衆議院議員 前原誠司

我が国は、今、国難の真只中にあります。歴史的な大災害。そして、未曾有の原発事故。いずれも簡単に解決できるものではありません。この危機的な状況乗り越えるためには、抜群のチームワークで世界一を勝ち取った“なでしこジャパン”のように、日本全体が一丸となってオールジャパンで危機脱却に向けて総力を挙げる必要があります。そのためには、まずは国民の代表たる私たち政治家が一致団結して、この国難に対処する姿を国民に示さなければなりません。

私たち民主党の議員は、この時期に政権を担っている政党の一員として、こうした環境を作り出す責任があります。従って、まずはきちんと党が一致団結して行動できる体制を整え、その上で「ねじれ国会」の中、いま日本がやらなければならない政策の迅速な決定・実現のために、与野党の協力の構築に全力を挙げなければなりません。

このことを実現することが、この国難から日本を救い、日本を再生することにつながり、それがひいては我が党に対する国民の失われた信頼を取り戻し、民主党の再生にもつながるのです。

私は、日本は必ずこの国難から立ち上がり、奇跡と思われるような驚くべき再生を実現できると信じています。皆さんと一緒に必ず「日本再生」を果たします。そのために皆さんと一緒に必ず民主党を再生します。どうかお力をお貸し下さい。

### <党運営>

#### (1) 挙党一致体制の確立

あらゆる困難に立ち向かい、震災復興をはじめとする国難に対処するためには、まずもって党内の一致結束が大前提となる。そのために真に適材適所の人材配置を実現し、全ての仲間の創意と工夫が存分に活かされる全員野球の体制づくりを目指す。

#### (2) 政策決定プロセスの改善

政権交代以降、政策決定の透明化と責任体制の明確化の観点から政府与党一元化の努力を重ねて来た。今後もその理念と目指すべきところは重視しつつ、現在の衆参ねじれ国会を前提に、より柔軟な与野党調整の環境づくり、その前提となる党内対話の充実等、党内または与野党間の一層の信頼関係の構築に適した体制づくりを目指す。

党の政策調査会の役割を見直す。政策調査会長が与野党協議の中心的役割を果たすとともに、政策調査会での議論を活性化し、議員1人1人が政策立案に関われる体制をつくる。

## <政権運営>

現在の衆参ねじれの状況のもとでは野党の理解と協力を得なければ、法案を成立させ政策の実現を図っていくことは困難である。党派の対立を乗り越え、震災復興をはじめとした国民本位の政策実現を図り、ひいては政治への信頼を取り戻すことが使命であると考え。その前提に立って真摯に与野党協議を呼びかけるとともに、あらゆる可能性を排除せずに、各党政策協議会の設置など与野党間の十分な対話と信頼関係の構築に全力で取り組む。

## <基本政策> 挙党一致で臨む政策の4つの柱

### (1) 「復興なくして再生なし」～ 大震災からの復興が第一 ～

#### ○ 本格的な第3次補正の早期編成

大型の第3次補正予算を早期に執行することによって、復興対策と原発被害対策に全力を挙げるとともに、喫緊の課題である円高や経済空洞化への対策、さらには、新エネルギー政策にも速やかに対処する。

#### ○ 安易な増税に頼らない復興財源の確保

復興財源は、安易に増税に頼らない。そのために例えば PFI/PPP や復興ファンドなどの民間資金の活用等を検討し、財政支出の圧縮を目指す。さらに、政府資産の売却や更なる歳出見直し、特別会計の見直し、景気回復時の増税等、財政規律維持の観点から復興財源の確保に全力を尽くす。復興債償還計画については、経済を回復軌道に乗せた上で、増税を含めてしっかりとした償還計画を立てる。

### (2) 「安心なくして成長なし」～ くらしと未来に真の安心を ～

#### ○ 原発事故収束と原子力安全規制・原子力政策のゼロからの見直し

一刻も早い事故の収束と賠償の着実な実施のため、国が全面的に関与し、事故収束と賠償、廃炉を進める。政治は子供たちを守り切れたのか、大いに反省し、将来世代を守り抜くという強い姿勢で安全対策と原子力政策の見直しを実行していく。

#### ○ エネルギー政策の抜本改革

官邸主導でエネルギー改革を実行する。原子力依存を中長期的に低下させ、温暖化対策も視野に入れつつ、再生可能エネルギー等の分散型電源の導入に力を注ぐ。既存の原発については、最新技術、最高水準の安全対策を導入し、安全性を十分確認できたものについて再稼働し、当面の間のエネルギー安定供給に万全を期す。

#### ○ 社会保障と税の一体改革の具体化

日本経済を成長軌道に乗せ、その果実を財政に寄与させる。同時に、中長期的な財政の健全性を担保しながら、党内の議論を踏まえた「税と社会保障の一体改革」を進め、安心できる社会保障を具現化していく。

### (3) 「成長なくして復興なし」～ 日本経済を成長軌道へ ～

#### ○ 円高・空洞化対策とデフレ脱却に集中的に取り組む

円高と空洞化対策に緊急に取り組むとともに、これからの3年間をデフレ脱却と潜在成長率のアップのための集中期間として、大胆な財政政策と大幅な金融緩和政策を組み合わせて実行する。それによって企業の国内基盤と雇用を守る。

#### ○ 政府と日銀の綿密な連携

政府と日銀の間で共通の政策目標を設定するなどして、日銀による金融政策の機動性と実効性を高める。

#### ○ 新成長戦略を加速させる

外為特会などを活用するほか、国家戦略ファンドを創設し、円高対策も兼ねた、海外の成長分野への投資を積極的に行っていくことなどを含め、経済外交を積極的に推進していく。また、被災地において、特区なども活用し、新成長戦略に掲げられているグリーンイノベーションやライフイノベーション分野の施策を集中的に先行して実施していく。

#### ○ 経済成長も目指した外交の再構築

日米同盟を基軸としつつ、アジア諸国をはじめとする主要各国との信頼関係の構築に全力を挙げる。パッケージ型インフラ輸出、自由貿易体制の拡大等経済外交を積極的に推進する。

### (4) マニフェストの実現に向けて

マニフェストの理念を堅持しながら、東日本大震災発生後の経済・社会情勢の現実 に即して、実現に向けて挙党一致で取り組む。

#### ○ 政治主導の体制の再構築

政治主導の政策司令塔として、国家戦略室の上に、オールジャパンの英知を集めた「国家戦略会議」の創設を目指す。その際、内閣人事局機能を設置し、官民の垣根を越えた優秀な人材の結集を図る。

#### ○ 行政改革／ムダ遣い削減の徹底

公務員人件費カットや天下りの根絶、独法改革や公益法人改革等マニフェストに基づいて実行途上の政策について、挙党一致、政治主導で強力に進めていく。

#### ○ 農業の再生と自給率の向上

戸別所得補償制度の確立と六次産業化の更なる推進によって、若者の定着できる、もうかる農業を確立し、食料自給率50%を目指す。

#### ○ チルドレンファースト

社会全体で子どもの育ち、学びを支援する。日本最大の資源は人であり、成長の基盤をつくる人材の育成を推進する。

#### ○ 地域の再生／地域主権

郵政改革法案について、次期臨時国会での成立に万全を期す。補助金改革による一括交付金への移行や出先機関改革の着実な実行により、地域の自主性と自立性を高めるための改革を引き続き推進する。

まえはら せいじ

# 前原 誠 司

## 略歴

昭和37年 4月	京都市左京区に生まれる（1962年4月30日生）
昭和44年 4月	京都市立修学院小学校入学
昭和50年 4月	京都教育大学教育学部附属京都中学校入学
昭和53年 4月	京都教育大学教育学部附属高等学校入学
昭和57年 4月	京都大学法学部入学、国際政治学（高坂正堯ゼミ）を専攻
昭和62年 4月	（財）松下政経塾入塾
平成 3年 4月	京都府議会議員選挙（左京区選出）において28歳で初当選
平成 5年 7月	第40回衆議院議員総選挙において初当選。以降連続当選、現在6期目

### 【衆議院・党の主な略歴】

沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長  
民主党代表（平成17年9月～平成18年4月）  
民主党副代表（平成19年8月～平成21年9月）  
国土交通大臣（平成21年9月～平成22年9月）  
沖縄及び北方対策担当大臣（平成21年9月～平成22年9月）  
防災担当大臣（平成21年9月～平成22年1月）  
外務大臣（平成22年9月～平成23年3月）

### 【現在の役職】

■衆議院・党	裁判官訴追委員会委員長（平成23年5月～） 衆議院懲罰委員会委員（平成23年3月～） 民主党憲法調査会会長（平成23年5月～）
■専門分野	「外交・防衛」 「公共事業改革の視点に立った財政再建」
■趣味	SLの写真撮影、妻との食事、ドライブ
■好きな食べ物	鰻、たまご焼
■座右の銘	至誠 天命に生きる

平成23年6月現在

## 前原誠司 推薦人名簿

- |     |       |     |      |
|-----|-------|-----|------|
| 1、  | 阿知波吉信 | 13、 | 高井美穂 |
| 2、  | 泉健太   | 14、 | 高橋昭一 |
| 3、  | 井戸正枝  | 15、 | 徳永久志 |
| 4、  | 小川淳也  | 16、 | 中谷智司 |
| 5、  | 小川勝也  | 17、 | 仁木博文 |
| 6、  | 小原舞   | 18、 | 林久美子 |
| 7、  | 城井崇   | 19、 | 古川元久 |
| 8、  | 菊田真紀子 | 20、 | 細野豪志 |
| 9、  | 黒岩宇洋  | 21、 | 松浦大悟 |
| 10、 | 小宮山洋子 | 22、 | 山井和則 |
| 11、 | 斉藤進   | 23、 | 柚木道義 |
| 12、 | 下条みつ  | 24、 | 渡辺周  |